20,000

合

計

記入年月日 の実績評価) 令和 3年度 事務事業評価表 ( 令和 2年度 日 事業区分 事務事業名 普通財産維持管理事業 新規/継続 継続 事務事業No. 060302000049 政策体系上の位置付け 単独/補助 単独 020201 所属課 0603 時代に合った自治体運営 総合計画の施策名 財政課 政策名 06 みんなで築く自治のまちづくり 課長名 03 時代に合った自治体運営 管財契約G 施策名 グルー 02 ②適切で効果的な事務事業の推進 系 手段名 担当者名 財務会計上の位置付け 丵 誀 事業 一般会計 単年度繰返し ( 平成17 年度~) 細 予算科目 01 02 01 07 01 00 財産管理事業 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入 法令根拠 | 地方自治法、地方財政法 事務事業の現状把握(その1)  $[D_0]$ (1)事務事業の概要 ①事務事業の概要(事務事業の全体像) ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 市有地の除草作業及び伐採作業 【事務事業の内容】 普通財産の維持管理を行う 賃貸契約及び請求事務 市有財産の有効活用を図るため市有地及び建物の維持管理及び売却・賃借を 売買契約及び登記事務 おこなう 不用財産の検討及び処分 ・維持管理及び委託契約事務 財産審議会の開催 段 (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、 指標値の推移 01年度 02年度 03年度 04年度 ○5年度 ①手段 (担当者の活動内容) ④活動指標 (活動量を表す指標) 単位 (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 公売件数 件 0.000.001.00 0.000.00 除草作業日数 Н 6.00 5.00 5,00 5.00 5,00 普通財産の適切な維持管理 0.000.000.000.000.000.00 0.00 0.00 0.00 0.00 02年度 03年度 04年度 05年度 ○1年度 (誰、何を対象にしているのか) 単位 ②対象 ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 189,244,00 土地面積 m² 189,244.00 189,244.00 189,244,00 189,244,00 普通財産 未活用市有地面積 m² 90,369.97 90,369.97 90,369.97 90,369.97 90,369.97 0.000.000.000.000.00○1年度 02年度 03年度 04年度 05年度 (対象における意図の達成度 (この事業によって対象をどう変え ③意図 ⑥成果指標 単位 を表す指標) るのか) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 315.30 0.00 売却面積 m² 1.97489 2.645.88 0.00未活用市有地の有効活用 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 01年度 02年度 03年度 期間限定 投入量(事業費)の推移 (3)(実績) (計画) 総投入量 国庫支出金 O 千円  $\cap$  $\cap$  $\cap$ 県支出金 千円 0  $\overline{\phantom{a}}$  $\cap$ 事 源 地方債 千円  $\cap$  $\cap$  $\cap$ O 投 使用料・手数料 千円 0 O 0 訳 その他 千円 Ω O 0 O 宇宙 -般財源 20,209 21,206 20,000 O 事業費計(A) 21,206 千円 20,209 20,000  $\cap$ 3.00人 3.00人 3.00人 正規職員従事人数 틆 02年度事業費 実績(千円) 03年度事業費 予算(千円) 01 報酬 01 報酬 10 需用費 1,200 10 需用費 1,200 7,635 12 委託料 12 委託料 7,000 13 使用料及び賃借料 13 使用料及び賃借料 6.869 6.800 費 14 工事請負費 5,448 14 工事請負費 4,910  $\sigma$ 内 訳

21,206

合

計

					(桜川中ケ以評価ンステム)	
	事務事業名	普通財産維持管理事業	事務事業No.	60302000049	所属課財政課	
		始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始され7 寺管理を行い、不要な財産の処分をする	たのか? 開始時期ある	いは5年前と比べてどう	変わったのか?	
(	(5) この事務事業に対除草作業は早めに実施市有地の公売金額が高		者)からどんな意見や勢	度望が寄せられているか	?	
7	See】 2. 評価の部	*原則は事前評価。				
改	評 価 項 目 ①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)					
革改	結びついている	適正な管理・処分等により維持費の削減ま	および、市有財産の有効	活用となることは、計画	回的な事務事業の推進に結び付く。	
善を	② 公共関与の妥当性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?)(法定受託事業はその名称)				
行う	妥当である 公有財産のため、市が行なうことは妥当である。					
	③ 成果の向上余地	(成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあ	るべき水準との差異はない	1か?何が原因で成果向上か	が期待できないのか?)	
	向上余地がある	<u>向上余地がある</u> 不用財産の処分をすすめることで、向上の余地がある。				
_	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)					
有效性	影響有	財産の適正管理ができなくなる。				
	⑤類似事業との統廃台	類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)□> 具体的な手段、事務事業名				
	余地がない	<u> </u>				
效	⑥事業費・人件費の削除余地(成果を下げずに事業費を削除できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) 					
率性	別級赤地グない					
公		⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)				
平性	<u>公正・公平である</u> 職員も作業をしており委託費の削減は難しい。					
_	Plan】 3. 評価結集 1) 1次評価者とし	民の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反 アの評価結果 (2)		) 后坐占)		
	①目的妥当性 □ ②有効性 □ ③効率性 ■ ④公平性 ■	普通財 適切 □ 見直し余地あり による 適切 ■ 見直し余地あり □ また、 適切 □ 見直し余地あり □ 現在,	財産の維持管理業務は則 る応援をお願いした。 跡地利用が決まってい 旧真壁小および旧紫尾	t政課職員だけでの対応は nない施設については、 isyの一部を民間事業所で		
(3	3) 今後の事業の方向性		数回答可)		(4) 改革・改善による期待成果	
	□終了 ■継	続 → ■ 改革改善を行う	数回合句/  的の再設定 □  効性の改善 □  廃合ができる □	公平性の改善	(終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減   維持 増加	
					向上	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 今後、用途廃止等で普通財産の増加が予想される。 跡地利活用に伴う業務量増加を補うため、職員の加配が必要である。						
					(6)事務事業優先度評価結果	
【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項						
	(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価	曲(課長評価により、	C、D判定及び確認が必要な場合)	
	課長確認後の評価 B A:継続(i B:継続(i		確認欄			